

JAPAN-CHINA ECONOMIC ASSOCIATION

MFPR ROPPONGI-AZABUDAI BLDG., 1-8-7 ROPPONGI, MINATO-KU, TOKYO 106-0032, JAPAN
TEL 03(5545)3111 FAX 03(5545)3117

6 日中経業第 30 号

2024 年 7 月 1 日

各位

一般財団法人日中経済協会
専務理事 堂ノ上 武夫



日中経済協会「海南自由貿易港考察ミッション」の参加御案内

謹啓 平素は当協会の事業につきまして、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では今年度の重点事業の一つとして、海南省へのミッション派遣を検討しておりますところ、今般、中国国際貿易促進委員会海南省委員会の受入れにより、8月27日（火）から31日（土）の日程で派遣することといたしました。

海南省は、習近平国家主席自らが提唱した重要国家戦略として、2020年6月に「海南自由貿易港建設マスタープラン」を正式に発表しました。①2025年までの貿易・投資の自由化、②2035年までのクロスボーダー資金、ヒト、貨物、データなどの安全な流動の実現、③2050年には現在の香港、シンガポールと同等に影響力のある自由貿易港を建設するという3段階の中長期計画です。

本ミッションは、本マスタープランの第1段階終了を来年に控え、いわば「島ごと免税店化」しようという国家プロジェクトの現状と課題を情報収集しつつ、同省を代表する海口及び三亚の2都市を訪問し、特色あるビジネス環境を考察することを目的とします。

当協会と致しましても、近年のますます注目が高まっている海南省への理解の一助と中国での新たなビジネスの契機となればと考えますところ、本考察ミッション御参加につき、是非とも積極的に御検討くださりますよう、お願い申し上げます。

謹白

記

1. 日 程：2024年8月27日（火）～31日（土） ※活動内容は別紙1を御参照下さい。
2. 訪問先：海南省（海口～三亚）
3. 主 催：一般財団法人日中経済協会（協力：中国国際貿易促進委員会海南省委員会）
4. 規 模：30～50名程度 当協会からは専務理事・堂ノ上武夫が参加予定です。
5. 案内先：当協会賛助会員ほか（参加者レベルなどは特に設定しておりません、中国現地からの御参加も歓迎です。）
6. 費 用：別紙2を御参照下さい。
7. 御申込先：専用サイト <https://jcpage.jp/jcevent/op/365>（〆切：7月31日（水））
※参加申込後の登録内容確認メールに、企業概要文、顔写真、パスポート（身分証）コピー等、提出物のお願いを記載しておりますので御確認ください。
8. 御問い合わせ：一般財団法人日中経済協会業務部（担当：澤津）
TEL：03-5545-3113 e-mail：naoya.sawazu@jc-web.or.jp

日程（案）

2024年7月1日現在

日程	時間	活動内容	宿泊
8月27日 (火)	09:20→11:40 14:55→17:50 19:15 19:30～21:00	成田→上海浦東 (NH919) 上海浦東→海口 (MU5549) ホテルチェックイン 団内夕食	海口市内
8月28日 (水)	08:30 09:00～10:30 11:00～12:00 12:30～13:30 14:00～17:00 17:00～19:00	ホテル発 江東新区考察 市場考察（代表的免税店等） 団内昼食 「海南自由貿易港政策説明会」実施 海南省指導者表敬・招宴	同上
8月29日 (木)	08:00 09:00→10:30 11:00～13:00 13:52→15:39 17:00～19:00	ホテルチェックアウト、出発 海口総合保税区考察 海口市指導者表敬・招宴 海口→三亜 (C7323) 三亜市指導者表敬・招宴	三亜市内
8月30日 (金)	09:00 10:00～11:00 11:30～12:30 13:30～15:00 15:30～17:30 18:00～19:30	ホテル発 三亜崖州湾科技城考察 団内昼食 三亜CBD管理局考察 市場考察（代表的免税店等） 団内夕食	同上
8月31日 (土)	05:30 07:05→08:45 14:15→19:45	ホテルチェックアウト、出発 三亜→広州 (CZ6731) 広州→羽田 (NH924)	

参加経費について

原則として現地集合、現地解散とします（海口美蘭国際空港集合・三亜鳳凰国際空港解散）

- **共通経費：** ※日中経済協会東京本部より円建てによる事後の御請求となります。
 - ✓ 団体バス代
 - ✓ 通訳代（謝金、旅費）
 - ✓ 旅行ガイド代
 - ✓ 事務局雑費・管理費・一部人件費
 - ✓ 食事代
- 20～25 万円/人**
 ※実際経費に基づき御請求申し上げます
 ※日中経済協会賛助会員は請求額から3万円/人を御値引き致します
 ※原則途中合流・途中離団に伴う減額措置はございません
- **参加者自己負担：** ※上記共通経費とは別途です（事務局手配を依頼する場合、日本の本団指定旅行社より円建てによる事後請求となります）。
 - 宿泊費（海口市内2泊、三亜市内2泊）
 - 往復航空運賃（①成田→上海浦東→海口、②三亜→広州→羽田）
 - 高速鉄道（海口→三亜）

● 経費概算：

ホテル	8月27～28日 海口国賓館等で検討中	600～700 元/泊 朝食付
	8月29～30日 三亜中心皇冠假日酒店等で検討中	チェックアウト時自己精算
フライト (国際)※	8月27日 成田→上海浦東 (NH919)	269,900 円 C 席
	8月31日 広州→羽田 (NH924) ※C 席・発券後：変更は不可、取消払戻は有料で可の参考価格 ※Y 席・発券後：変更は可能。取消払戻は不可の最安値参考価格	116,900 円 Y 席
フライト (国内)※	8月27日 上海浦東→海口 (MU5549) ※中国東方航空 ※変更・取消払戻ともに有料で可の参考価格	194,320 円 C 席 54,420 円 Y 席
	8月31日 三亜→広州 (CZ6731) ※中国南方航空 ※変更・取消払戻ともに有料で可の参考価格	144,380 円 C 席 46,480 円 Y 席
高速鉄道	8月29日 海口→三亜 (C7323)	11,900 円 一等座
食事	昼（飲物別概算）	3,000 円/人
	夕（同上）	6,000 円/人

※フライトは国際、国内ともにサーチャージ（将来的な値上げ可能性あり）・TAX・発券手数料等込みですが、今後の空席状況次第で料金変動の可能性があります。

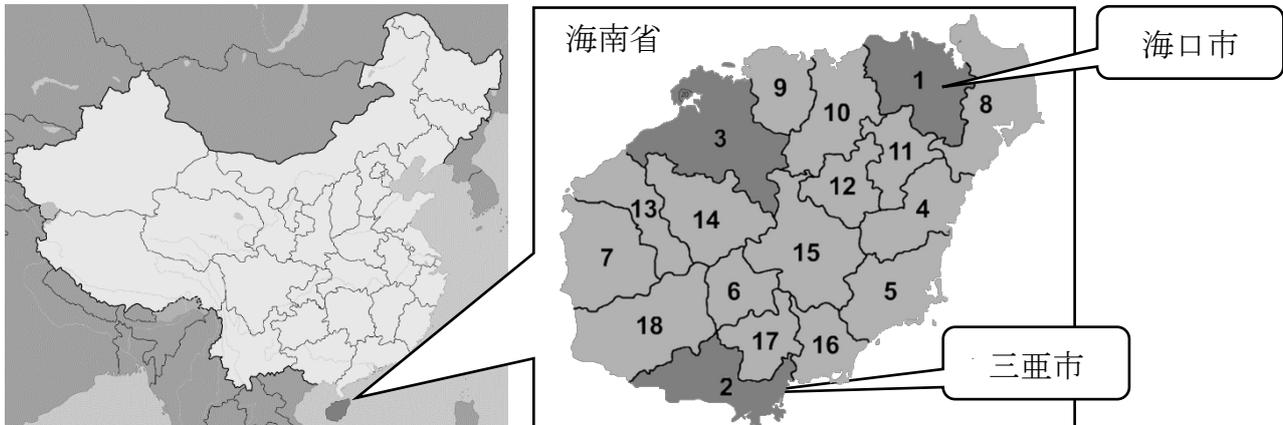
- 本団指定旅行社
 日新航空サービス株式会社 日中平和観光事業室（担当：松本様・櫻井様）
 〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー10階
 TEL: 03-5358-1809 FAX: 03-5358-1888 e-mail: k-matsumoto@nissin-trvl.co.jp

【重要】中国渡航ビザについて

海南省には、一部渡航ビザ免除の特例制度もありますが、今回フライトの乗り継ぎの事情で、一次ビザを取得いただく前提での行程を組んでおります。ビザが必要な方は、日新航空サービスにて取得手続きの代行サービス（有料）も行っておりますので、事務局まで御相談ください。基本的な流れや経費は、【こちらの案内】を御参照ください。

☞ https://jcpage.jp/hainan_m/nissin-trvl Visa_info.pdf

参考資料 海南自由貿易港考察ミッション派遣にあたって



(出典) Wikipedia

1. 海南省と自由貿易港政策について

- 海南省は、中国大陸と東南アジアエリアの結節点である中国最南端に所在。アジアのハワイとも称される観光名所として知られ、ここ数年の経済発展も著しい。
- 海南自由貿易港（以下、自貿港）は、習近平国家主席自らが提唱した重要国家戦略。2020年6月「海南自由貿易港建設マスタープラン」を正式に発表。23年4月、習主席が海南を視察した際、「海南が新時代の中国改革開放モデルになるべき」との重要談話。
- 自貿港は、3段階に分けて建設。①25年までに貿易・投資を自由化。②35年までに貿易・投資のみならず、クロスボーダー資金、ヒト、貨物、データの安全な流動を実現。③50年に現在の香港、シンガポールと同等に影響力のある自貿港を建設。
- 海南自貿港と中国のその他21カ所の自貿港との相違は、法規的バックアップがあること。21年6月、「中国海南自由貿易港法」が正式に全人代で批准され、海南省は、香港・マカオ基本法と同等の立法権を有するようになり、グローバル投資企業に長期的、安定的な法律面での保障をサポートする。
- 海南自貿港は3年間の建設を経て、23年海南省の経済指標は、全国トップレベルに。GRP成長率は全国の5.2%に対して海南省は9.2%。

2. 日中経済協会と海南省

当協会と海南省の交流は古く、1987年秋、当協会訪中代表団に対して、当時の谷牧国務委員から海南島開発について協力要請があり、協会会員企業40社の協力を得て「海南島開発協力委員会」を設置し、協力委員会の現地視察団を4回にわたる派遣、訪日団の受け入れを行うなど交流を重ねた経緯がある。

さらに96年春、経団連ミッションで訪中した春名和雄委員長（丸紅元会長）に対して、朱鎔基副総理から改めて海南省洋浦地区の開発について協力要請があった。当協会は専門家によるプロジェクト調査を実施し、同年の訪中代表団派遣の際に新たな協力可能分野と関連プロジェクトについて春名委員長から直接、朱副総理に対し報告を行った。

3. 省指導者経歴

- 馮飛（ふう・ひ Feng-Fei）海南省共産党委員会書記

1962年12月生まれ（原籍：江西省九江市）

学歴：天津大学電力自動化工程系卒業、清華大学電機工程応用電子技術系ポスドク

1993～2014 国务院發展研究中心産業經濟研究部長など歴任

2014～2016 工業信息化部産業政策司長、副部長など歴任

2016～2020 浙江省副省長など歴任

2020～2023 海南省委副書記、副省長、省長など歴任、2023年4月より現職



- 劉小明（りゅう・しょうめい Liu-Xiaoming）海南省人民政府省長

1964年9月生まれ（原籍：江蘇省鎮江市）

学歴：東南大学土木工程系卒業、北京工業大学土木工程系修士課程修了

1988～2003 北京工業大学講師、准教授、教授、副学長など歴任

2003～2014 北京市交通委員会副主任、主任など歴任

2014～2021 交通運輸部運輸司長、運輸服務司長、副部長など歴任

2021～2023 広西壮族自治区党委副書記、2023年4月より現職



4. その他 参考情報：当協会ジャーナルやウェブサイト等を通じた情報発信リスト

- [FOCUS] 海南自由貿易港と中日産業協力（李明星・中国企業聯合会副会長、海南世界貿易中心集团会長）
『日中経協ジャーナル』 2024年6月号（通巻365号）2ページ
- 省別概況資料（海南省分は2024年2月更新）
<https://www.jc-web.or.jp/pages/1015/>
- 【表敬報告】海南省貿促会林春紅副会長一行（2023年9月）
<https://www.jc-web.or.jp/pages/1171/>
- 【参加報告】海南自由貿易港政策とビジネスチャンスの説明会（2023年6月）
<https://www.jc-web.or.jp/pages/1125/>
- [時々刻々] いまさらきけない海南自由貿易港（澤津直也・日中経済協会業務部）
『日中経協ジャーナル』 2023年5月号（通巻352号）18ページ
- 【出張報告】第3回中国国際消費財博覧会（2023年4月・海口）
<https://www.jc-web.or.jp/pages/1103/>
- 【後援報告】海南自由貿易港政策とビジネスチャンスに関する説明会（2022年12月）
<https://www.jc-web.or.jp/pages/1062/>
- 【表敬報告】海南国際経済發展局宮起君副局長一行（2022年11月）
<https://www.jc-web.or.jp/pages/1061/>
- 【協力報告】海南自由貿易港優遇政策・投資チャンス説明会（ハイエンド製造業編）（2020年7月）
<https://www.jc-web.or.jp/pages/945/>

以上